



同期に差をつけよう！新社会人におすすめ 経営・経済分野のマンガ ベスト5選



難しい本はちょっと・・・という人も、マンガなら気軽に楽しめるという人も多いはず。M&A Online編集部が経営・経済分野のベスト5作品をピックアップしてみました。ゴールデンウィークにマンガを読んで、同期に差をつけちゃおう！

○M.I.Q (マスマコム、講談社)

主人公の高校生が先生からお金の価値マネーIQ (M.I.Q)について学ぶという学園モノ。全3巻刊行。まとめて一気に読むのがおすすめ。アマゾンで評価が分かれているので、気になる人はレビューコメントを読んでからどうぞ。

○もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(1) (樫 あす、岩崎夏海、ジャンプコミックスデラックス)

ベストセラー「もしドラ」のマンガ版。原作を読んでないという人がいたら、さらっと読めるマンガ版をおすすめする。原作に忠実なストーリーになっている。

○マンガ ウォーレン・バフェット 世界一おもしろい投資家の、世界一儲かる成功のルール (森生文乃、講談社+α文庫)

「オマハの賢人」ウォーレン・バフェットの伝記をマンガ化。投資手法ではなくバフェットの人生を知りたいという方におすすめの一冊。

○マンガでわかる株式投資! 女子高生株塾 (ホイチョイ・プロダクションズ、ダイヤモンド社)

作者は「東京いい店やれる店」のホイチョイ・プロダクションズ。バブリーなノリなのか?と思いきや、当時の時事ネタを織り交ぜながら株式関係の専門用語をわかりやすくマンガで説明してくれる意外と親切丁寧な頼りになる本。続編の「新・女子高生株塾」では金融と経済についてさらに踏み込んだ内容になっている。

○マンガ経営戦略全史 革新篇・確立篇 (三谷 宏治、PHP研究所)

ベストセラー「経営戦略全史」(三谷 宏治、ディスカヴァー刊)のマンガ版。経営戦略論の変遷をさくっとおさえたい人におすすめ。戦略論好きな上司対策に。

文：M&A Online編集部